

NIEに注目せよ

NIEという言葉は普段、耳にすることは無いと思う。「Newspaper in education」の略称で、「教育に新聞を」という意味だ。清風学園にはNIE研究会があり、生徒十数人が新聞から学び、議論している。活動を通し、21世紀の新聞の可能性は無限大で、「教育には新聞が必要だ」と考える。

新聞は面白いことが書かれていないから読む必要がないと思ってる人が多いのではないだろうか。スマートフォンでニュースを読んでいると、世間の出来事がわかると考えている人が増えているのかもしれない。実際に各新聞社の発行部数は毎年減っている。

AIが台頭するとともに、21世紀は仕事の在り方は大きく変化するだろう。AIの強みは単純作

NIE研究会 高校副部長 福田万里



業。清風学園常勤顧問・井上愛一郎先生によると「AIは、膨大なデータからキーワードを見つけ出す能力は人間をはるかに上回っている」と指摘する。つまり、単純労働の多くはAIに奪われてしまうことになる。しかしAIは発想能力や論理的読解能力で人間よりも劣る。私たちは新聞を通してこの能力を伸ばし、AIにできない仕事をする必要がある。

新聞を読むと、自分で物事の意味を理解し論理的に自分なりの答えを導きだす訓練になる。そこで教育に新聞を導入することで、生徒たちは議題を理解しながらそれぞれ持っている意見をもつつけあひ自分なりの答えを導きだすことができる。つまり、AIが仕事に参戦してく

る21世紀では、教育に新聞を使って発想能力などを育成することはとても重要である。

また、世界を最速で学ぶことができる新聞は、リーダーを育てるためにも必要だ。新聞を一読するとネットニュースの限られた世界と違い広大な世界が自分に入ってくる。世界中の出来事や経済情報及び政治について学ぶことができるのだ。いわば新聞は世界の教科書で、読者は最速で世界を理解できるのだ。

グローバル化した世の中で井の中の蛙の人間は世界を率いるリーダーにはなれないのだ。学生時代から新聞を読むことによって世界を早い段階から知る必要がある。そして経済情報や政治、民衆を理解している人間が世界のリーダーになれるのだ。このように、21世紀を生きたく人間を育てる学校で、NIEは重要な存在だ。あなたもNIE研究会で、一緒に新聞を読んでみませんか。

(談)